



基本領域 外科専門研修

連携

- 三重大学医学部附属病院外科専門研修プログラム
(呼吸器・心臓血管外科)
- 大阪市立総合医療センター外科専門研修プログラム
(乳腺外科、呼吸器・心臓血管外科、(救急科⇨92頁))
- 兵庫京大外科専門研修プログラム
(消化器外科、乳腺外科、呼吸器・心臓血管外科、(救急科⇨92頁))
- 兵庫医科大学外科専門研修プログラム
(消化器外科、乳腺外科、呼吸器・心臓血管外科、(救急科⇨92頁))
- 神戸大学外科専門研修プログラム ※2025年度から連携開始予定
(消化器外科、乳腺外科、呼吸器・心臓血管外科、(救急科⇨92頁))
- 埼玉石心会病院外科専門研修プログラム※2025年度から連携開始予定
(救急科⇨92頁)

消化器外科

1. 消化器外科の理念・特色

豊岡市をはじめとする但馬地域の基幹病院として、消化器癌、乳癌などの癌に対する手術と術後の集学的治療を中心に診療を行っている。胆嚢胆管結石、各種ヘルニアその他の良性疾患の待機的手術を実施しているほか、緊急手術としては、消化器外科通院患者が対象の緊急手術、院内及び院外から直接消化器外科へ紹介された患者の緊急手術に特化して行っている。

消化器癌に対しては、適応に応じて腹腔鏡下で手術を行うようにしており、現在、胃癌や結腸・直腸癌に対しては積極的に腹腔鏡下手術を行い、膵臓・肝臓にも適応を拡げている。胃癌、直腸癌、結腸癌に対して、ロボット支援下手術を適応している。

手術後の癌化学療法、フォローアップも消化器外科で行っており、化学療法の大多数は化学療法専任看護師が従事する化学療法室で外科化学療法として行っている。

消化器外科の外来診察は基本的に3診制で行っている。

なお、豊岡病院では、従来消化器外科が担当してきた外科対象疾患の緊急手術の多くは救急集中治療科が行っているほか、胃癌、大腸癌で内視鏡的に切除が可能な早期癌については、消化器科が担当している。

2. 目標・プログラム

ア. 目標とする医師像

専攻医が医師として必要な基本的診療能力と外科領域の専門的診療能力を習得することを目標とする。併せて外科医として知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となることを目指す。このために、外科領域全般からサブスペシャリティ領域(消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科)またはそれに準じた外科専門領域(乳腺や内分泌領域)の専門研修を行い、それぞれの専門医取得へと連動するものとする。

イ. 経験できる診療、技術

担当する分野:

食道癌

ガイドラインに従い、stage I の症例に対してはそのまま手術、stage II、III の症例に対しては術前化学療法(NAC)の後、症例によっては胸腔鏡を併用した根治術を行っている。また、切除不能症例には化学療法や化学放射線療法を行っている。

胃癌

ガイドラインに従い T2、N1 までは腹腔鏡下の手術を導入している。また、早期胃癌には機能温存手術を積極的に行っている。

一方、予後不良と考えられる高度進行胃癌を対象として、臨床試験として術前化学療法(NAC)を施行した後、手術を行っている。術後は、補助化学療法を stage II、III を対象に施行し、再発症例に対しても積極的に全身化学療法を導入している。

ロボット支援下手術も積極的に導入している。

大腸癌

大腸癌には D3 廓清をとまう腹腔鏡下手術を標準治療としている。一方で、局所進行直腸癌に対しては他臓器合併切除を含めた拡大手術を行い、術後化学療法を用いて予後の向上を図っている。cT3 以深の下部直腸癌症例に対しては側方リンパ節廓清を定型的に行っている。

術後はエビデンスに基づいた補助化学療法に加え、進行・再発大腸癌に対しては最新の分子標的薬を併用した全身化学療法を標準治療として施行している。また切除可能な肺・肝転移に対しては積極的に手術を施行し、良好な治療成績を得ている。

肝癌

術前診断から治療まで消化器科と合同で治療戦略を立て、部位や個数、患者さんの肝予備能とのバランスから手術適応・術式を決定している。また、最近増加傾向にある転移性肝癌に対しては積極的に手術を施行し、良好な治療成績を得ている。

膵臓癌

膵頭部癌、十二指腸癌・乳頭部癌、遠位胆管癌に対して定型的な膵頭十二指腸切除術を、膵尾部癌に対しては膵体尾部切除を施行しており、出血量の少ない安全な術式を確立している。

急性胆嚢炎

発症早期の症例には手術を原則としており、可能な限り腹腔鏡による手術を行っている。

一方、重症例にはドレナージを術後、待機的に手術を行っている。

鼠径ヘルニア

症例に応じて腰椎あるいは膨潤麻酔下に Lichtenstein 法を、全身麻酔下に腹腔鏡下ヘルニア手術を行っている。

§ ロボット支援下手術も導入している。

3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
早朝	総回診		カンファレンス	総回診		休日 (病棟当番) (病院日当直) (講習会) (学会)
午前	手術 または 外来	手術 または 外来	手術 または 外来	手術 または 外来	手術 または 外来	
午後	手術 または 外来	手術 または 外来	手術 または 外来	手術 または 外来	手術 または 外来	
時間外	術前・術後 カンファレンス					

※外科の外来診療は3室で行っている。1診が初診外来で初診対応とその後の定期的経過観察、2～3診は術後のフォローアップ外来を行っている。

4. 指導医・スタッフ

副院長
兼部長 **坪野 充彦** (つばの みちひこ)

大学卒業年 1982年卒

博士(医学) 京都大学 1995年

専門	消化器外科、癌化学療法、内視鏡外科
認定	日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、日本がん治療認定機構認定医、暫定教育医

院長補佐
兼部長 **内田 茂樹** (うちだ しげき)

大学卒業年 1990年卒

博士(医学) 京都大学 1999年

専門	消化器外科、内視鏡外科
認定	日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、日本ロボット外科学会専門医、臨床研修指導医

部長 **三木 明** (みき あきら)

大学卒業年 1998年卒

専門	消化器外科、内視鏡外科
認定	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、消化器がん外科治療認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医(消化器、一般外科)、ICD制度協議会認定医、日本外科感染症学会外科周術期感染管理認定医、教育医、日本化学療法学会抗菌化学療法認定医、日本ロボット外科学会専門医、臨床研修指導医

医長 **上村 良** (かみむら りょう)

大学卒業年 2002年卒

博士(医学) 京都大学 2012年

専門	消化器外科、肝胆膵外科
認定	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、消化器がん外科治療認定医、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医、臨床研修指導医

医長 **岡本 拓也** (おかもと たくや)

大学卒業年 2010年卒

博士(医学) 京都大学 2021年

専門	消化器外科、一般外科
認定	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医・消化器がん外科治療認定医

医長 **河原林 卓馬** (かわらばやし たくま)

大学卒業年 2017年卒

専門	消化器外科、一般外科
認定	日本専門医機構認定外科専門医

医長 **藤澤 亮裕** (ふじさわ あきひろ)

大学卒業年 2017年卒

専門	消化器外科、一般外科
認定	日本専門医機構認定外科専門医

医員 **小山 達也** (こやま たつや)

大学卒業年 2020年卒

専門	消化器外科、一般外科
----	------------

5. 診療設備等



・手術支援ロボット「ダヴィンチ(da Vinci Xi サージカルシステム)」米国インテュイティブ・サージカル社(2017年度導入)

6. 診療実績

・手術症例(1月～12月)

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
全手術数	579件	504件	496件	515件	556件
全麻手術数	421件	398件	399件	415件	445件
腹腔鏡下手術数	200件	190件	140件	178件	255件
緊急手術数	112件	93件	77件	49件	57件

術式別手術件数 (うち鏡視下手術)	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
食道癌切除術	1件	0件	2件 (2)	4件 (4)	8件 (8)
胃切除術	28件 (8)	45件 (19)	32件 (20)	40件 (22)	45件 (33)
幽門側胃切除術	10件 (6)	27件 (15)	29件 (17)	28件 (18)	29件 (25)
胃全摘術	14件 (2)	15件 (2)	12件 (2)	12件 (4)	10件 (5)
大腸切除術	73件 (53)	79件 (59)	73件 (36)	89件 (65)	89件 (67)
結腸切除術	62件 (44)	44件 (29)	57件 (24)	59件 (40)	62件 (45)
直腸切除術	11件 (9)	35件 (30)	16件 (12)	30件 (25)	27件 (22)
肝切除術	7件	12件	9件	6件	10件 (1)
膵頭十二指腸切除術	3件	7件	9件	6件	4件
乳癌手術	77件	83件	77件	83件	72件
胆嚢摘出術	93件 (74)	100件 (68)	66件 (42)	56件 (37)	77件 (66)
ヘルニア手術	116件 (16)	104件 (20)	84件 (17)	96件 (24)	104件 (37)
虫垂切除術	15件 (12)	19件 (18)	14件	19件 (17)	35件 (34)
小児外科手術(15歳未満)	22件	9件 (7)	10件	9件	6件
良性肛門疾患手術	22件	26件	19件	19件	38件 (1)

7. 学会認定施設

- ・日本外科学会専門医修練施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・地域がん連携拠点病院



指導医からのメッセージ

外科を志望する医師が減少傾向にあり、外科専門研修医の全国的な減少に外科医は危惧を抱いています。特に消化器外科、心臓血管外科において顕著であり、地方医療は特に影響を受けています。但馬の外科医療も例外ではありません。

これから医師の時間外労働の上限規制、健康確保処置が適応されることになり、外科医が減少することで、満足な地域医療を提供できなくなる未来が想定されます。外科医師を増やすことは喫緊の課題で、外科専攻医は貴重な人材です。

その貴重な人材を育てる責務が私たちにはあります。

当院の消化器外科は、兵庫京大外科専門研修プログラムに則った外科専攻医研修を行っています。神戸市立医療センター中央市民病院を基幹病院とした3年間のプログラムで外科専門研修を行います。当院で2年間、また、1年間 基幹病院、連携病院をローテートして研鑽することになります。

当院は但馬地区の基幹病院として、兵庫県北部、京都府北西部の外科疾患が集まり症例は豊富です。ロボット支援下手術を若手医師に行ってもらう準備としてロボット支援下鼠経ヘルニア手術の導入も始めました。但馬地方には忍耐強い方が多いためか、進行がんも多く開腹手術も沢山経験できます。基本的には主治医執刀制であり、消化器外科の専門医制度指定修練施設として指導医、専門医が指導します。乳腺疾患については、兵庫京大乳腺専門研修カリキュラムの連携施設としての研修が可能です。

外科専門研修を修了後、専門医登録し京都大学消化管外科、肝胆膵移植外科、乳腺外科の大学院への進学、京都大学関連病院での勤務などのキャリアパスをサポートします。もちろん当院での勤務も歓迎します。

また、それぞれ神戸大学病院、兵庫医大病院を基幹病院とする、神戸大学外科専門研修プログラム、兵庫医科大学外科専門研修プログラムの連携病院として兵庫県・県養成医師の外科専攻医も受け入れています。但馬地域で活躍する外科医の養成にも貢献したいと考えています。

来たれ、外科専攻医！！



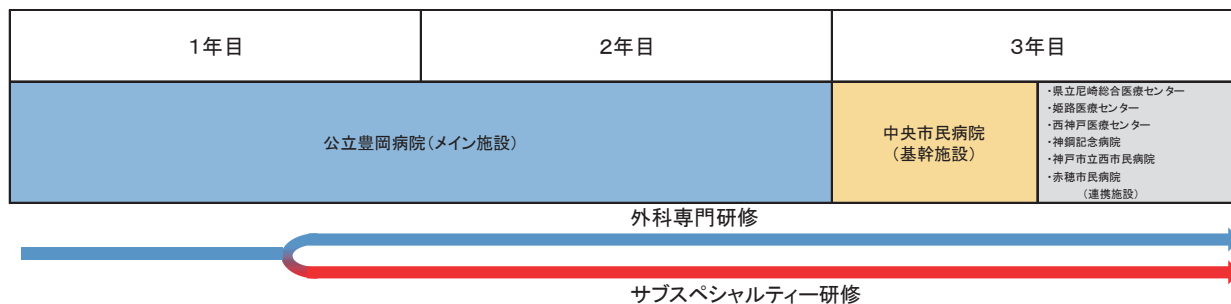
消化器外科部長
内田 茂樹

外科
領域

● 連携するプログラム(公立豊岡病院メインコース)

兵庫京大外科専門研修プログラム

公立豊岡病院(消化器外科、乳腺外科、呼吸器・心臓血管外科)での研修モデル



プログラム・資料に関する問い合わせ先

TEL 078-302-4321

FAX 078-302-7537

e-mail kyoikubu@kcho.jp

website http://chuo.kcho.jp/recruit/late_resident/medical

〒650-0047 神戸市中央区港島南町2丁目1-1

神戸市立医療センター中央市民病院

事務局 総務課 専攻医採用担当

専攻医の声

神戸市立医療センター中央市民病院 外科・移植外科、卒後5年目の粟根健人です。豊岡病院消化器外科に2年間赴任しました。

豊岡病院外科は消化器外科7名、乳腺外科3名で構成されています(2022年12月現在)。私から、専攻医としての当院消化器外科の魅力について紹介致します。

①豊富で多彩な症例

地域の基幹病院であり、様々な症例が当院に集まります。虫垂炎、胆石、鼠径ヘルニアなどの良性疾患から、胃癌、大腸癌などの悪性疾患の症例はもちろん、膵癌、肝癌の手術症例もありますし、肛門疾患、小児症例まで幅広く経験することができます。

2021年の手術症例数(うち腹腔鏡下):全手術496例、緊急手術77例、胃44例(19例)、大腸82例(43例)、肝9例、膵7例、胆嚢・ヘルニア・肛門疾患・その他多数。

また、担当した症例は、原則若手に執刀する機会を与えていただけるのが当科最大の特徴になると思います。もちろん、どの症例も上級医と相談しつつ診療に当たれるので、若手としては安心して経験を積むことができます。また、専攻医数が少数(2022年12月現在は2人)なのも症例が当たる機会が非常に多く、専攻医として修練するに当り恵まれた環境と言えます。

他科との合同カンファレンスもあり、特に消化器科との相談は活発であり、相互に症例を紹介しあえる環境となっており、年に数回ではありませんが、LEOSなど、消化器科と合同手術を行うこともあります。

また、他科での研修も可能です。外科専門医を取得するうえで必要な大血管、体表などの手術症例が必要となりますが、当院のみで全て経験可能となっております。

②ホワイトな労働環境

当院の特徴として、救急集中治療科が充実しているため、夜間、休日の緊急手術症例は、救急集中治療科で手術していただくことが多いです。もちろん、当科相談症例もあり、緊急手術の経験も可能ではありますが、いわゆる時間外での手術症例が少ない傾向です。その分、予定手術に対して、勉強する時間を確保することができ、家族や趣味にも時間を充てることのできるの、当科のもう一つの魅力と思っています。

③学術活動

地域の中核病院の特性として、症例に偏りなく、まれな症例も経験することができます。それを題材に学会発表することも可能で、病院、外科からも十分支援していただけます。

④豊岡という自然豊かな地域

みなさんにとって、豊岡という地域は都会から離れており、気候としても夏は暑く、冬は雪が降るとい印象があるかもしれません。ただ、僕は4年ほど豊岡という土地で過ごした上での個人的な感想を言うと、まさに住めば都です。近年では高速道路が延長され、豊岡～大阪間は2時間強で到着するまでになりました。また、雪は確かにすごいです。ただ、アウトドアが好きな人であれば、スキー、スノーボードなど楽しむことができ、夏は海も近いですし、自然の豊かさには事欠きません。蟹、但馬牛などを中心に食事もかなりレベルが高く、スタッフの人柄も良く、充実した専攻医生活を送れると自信を持って紹介できます。



乳腺外科

1. 乳腺外科の理念・特色

当院は、兵庫県北部では唯一の乳癌学会認定施設で、但馬地域の乳癌患者の大部分を診療している。

人口希少な郡部の病院であるが、都市部の専門施設にひけをとらない乳癌に対する医療の提供を心がけており、乳腺専門医か乳腺専攻医のみが、診断、治療を一貫して担当している。

診断において、マンモグラフィは放射線科医師と乳腺外科医師でダブルチェックを行っている。超音波検査は女性技師が受診者全員に対してスクリーニングエコーを行い、有所見例のみ医師が診察室で再度超音波検査を実施し、病理診断が必要な症例に対してはその場で針生検や穿刺吸引細胞診を行い、迅速な診断を心がけている。

治療法の選択にあたっては、乳癌学会編纂の「乳癌診断ガイドライン」に準拠し、できるだけ標準的な治療法を患者に提示し、患者の意思を尊重して決定している。

手術は、患者の希望があれば乳房温存療法を積極的に実施している。その際必須となる術後放射線療法はもちろん当院で実施可能である。近年、乳房全切除が必要な症例に対して乳房再建術が保険適応となり全国的に実施例が増加しているが、当院においても形成外科との連携により乳房再建（一次再建あるいは二次再建）を実施する体制が整っており、乳房再建実施症例は増加しつつある。

常勤病理医とは定期的にカンファレンスを行っており、そこでの議論が治療法の選択を左右することも多い。

また、関連する多職種でプレステケアチームを結成しチーム医療を実践している。例えば、乳癌と診断された患者に対しては、乳癌看護認定看護師が術前から術後補助療法に至るまでしっかりサポートするし、化学療法の実施においては薬剤師による薬剤投与量や副作用対策に対する助言が欠かせない。さらに週 1 回、プレステケアチームによる術前・術後カンファレンスを行い、乳癌診療に関する知識のボトムアップを図っている。

2. 目標・プログラム

ア. 目標とする医師像

- ・ 乳癌診療に必要な基本的手技と基本的知識を身につけ、患者の社会的背景や家族関係も考慮し、患者の意思を尊重しつつ、診療にあたることができる医師。
- ・ 他者の意見にも素直に耳を傾ける柔軟さと協調性を持った医師。

イ. 経験できる診療、技術

- ・ 乳腺疾患の問診、視触診
- ・ マンモグラフィ読影
- ・ 乳腺超音波検査の実施
- ・ CT、MRI、骨シンチの読影
- ・ 穿刺吸引細胞診、CNB、VAB の手技
- ・ 乳癌の治療方針の決定
- ・ 術前薬物療法の実施
- ・ 乳腺良性疾患に対する外来手術の実施
- ・ 乳癌に対する手術の執刀
- ・ 乳癌の術前術後管理
- ・ 術後薬物療法の決定と実施
- ・ 術後のフォローアップ
- ・ 再発乳癌の診断と治療選択

3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
午前	外来	手術	外来	外来	外来	/
午後	外来	手術	外来・手術	外来	外来	
時間外				術前・術後症例検討会 病理カンファレンス ドックマンモグラフィ読影		

4. 指導医・スタッフ

部長	水田 誠
大学卒業年	1984年卒
専門	乳腺外科
認定	日本外科学会専門医・指導医、 日本乳癌学会専門医・指導医、 検診マンモグラフィ読影認定医師、 日本乳房オンコプラスティックサー ジャリー学会乳房再建責任医師

医長	杉本 堯
大学卒業年	2013年卒
専門	乳腺外科
認定	日本外科学会専門医、 検診マンモグラフィ読影認定医師、 日本乳房オンコプラスティックサー ジャリー学会乳房再建実施医師



5. 診療設備等

- ・ 3D マンモグラフィ
- ・ 1.5T MRI装置 フィリップスジャパン Ingenia1.5
- ・ 3.0T MRI装置 フィリップスジャパン Ingenia3.0
- ・ PDE システム：センチネルリンパ節生検時に用いる ICG 蛍光法に利用
- ・ 乳がんリンパ節転移迅速検査システム OSNA

6. 診療実績

手術症例数

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
乳癌根治術	80	76	78	81	70
乳房全切除術	49	44	50	52	49
乳房部分切除術	31	32	28	29	21

7. 学会認定施設

日本乳癌学会認定施設

【学会認定専門研修プログラム】

乳腺認定医制度修練カリキュラム(2年)

乳腺専門医制度修練カリキュラム(5年)

【日本専門医機構認定専門研修カリキュラム(サブスペシャリティ領域)】

兵庫京大乳腺専門研修カリキュラム



先輩医師の声

豊岡病院乳腺外科、卒後12年目の福井由紀子と申します。

当院の乳腺外科の特徴は、患者層の広さです。この地域で乳腺外科はここだけですので、いろいろな背景の患者が集まります。一人一人に応じた治療を、看護師、薬剤師、検査技師、理学療法士、リハビリ科スタッフなど他職種によるチームカンファレンスで相談します。その結果をふまえて、患者と一緒に治療を選択し、安全に確実に進めていけるよう支援するという奥深さ、やりがいがあります。

新規乳癌患者は年間100例程度です。少なすぎず多すぎず、勉強しながら仕事もできる、ほどよい規模だと思います。

不便な点は、交通の便です。ただ学会や論文発表、勉強会の参加は積極的に後押しして頂けます。院内でネット配信の勉強会もたくさんありますし、都市の病院と遜色はないと思います。

これまで豊岡病院で勤務されていた先生方は「豊岡の人はいい人ばかり」と言われています。ご飯はおいしく、住みやすく、働きやすい病院です。ぜひ豊岡での勤務を考えてみてください。



似顔絵(自筆)

呼吸器・心臓血管外科

1. 呼吸器・心臓血管外科の理念・特色

但馬、丹後地域における唯一の心臓血管外科・呼吸器外科である。当科は昭和27年に呼吸器科として発足し、結核の内科・外科治療を行ってきました。しかし結核患者の減少に伴い、心臓外科領域にも対応するようになり、昭和42年に心室中隔欠損の手術に成功し、以後50年を経過している。この患者はその後3人の母となり現在もお元気に生活されています。平成31年より呼吸器・心臓血管外科と名称変更し、心臓血管外科医5名、呼吸器外科医1名が在籍し心臓・大血管・末梢血管・肺・縦隔・胸壁の疾患に対応しています。少ない人員ですが、許せる限り24時間体制で緊急手術にも対応しています。当科の方針は、時流に惑わされることなく遠隔期を考慮した術式を確実にを行い、生命予後、身体能力の改善を目指すことを旨としています。

但馬地方の人口は65歳以上の高齢者率33.5%(全国平均26.6%)、75歳以上の後期高齢者率18.5%(全国平均12.8%)と高齢者が多く住んでいる地方です。したがって、患者の身体的活動力、病気の重症度、合併疾患は様々です。近隣医療機関より当科または循環器内科、呼吸器内科へ紹介されてきますが、常に手術が唯一の治療手段と考えるのではなく、患者の活動能力・希望に沿って嚴重に外来での観察を続け手術時期・適応を模索することもあります。患者の要望、私たちに出来ることを家族とともに話し合いながら治療にあたります。

2. 目標・プログラム

ア. 目標とする医師像

- ・ 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- ・ 専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- ・ 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- ・ 外科専門医の育成を通じて地域医療をささえ国民の健康・福祉に貢献すること
- ・ 外科領域全般からサブスペシャリティ領域(心臓血管外科、呼吸器外科)またはこれに準じた外科関連領域の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

イ. 経験できる診療、技術

- ・ 虚血性心疾患: 労作時狭心症、不安定狭心症、心筋梗塞、左室瘤、虚血性僧帽弁逆流、虚血性心筋症
- ・ 弁膜疾患: 大動脈弁狭窄、大動脈弁逆流、僧帽弁狭窄、僧帽弁逆流、三尖弁逆流
- ・ その他の心疾患: 心臓腫瘍、心房中隔欠損、心房細動
- ・ 大動脈疾患: 胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤、急性大動脈解離
- ・ 末梢血管: 閉塞性動脈硬化症、末梢血管の動脈瘤、バージャー病、下肢静脈瘤、内シャント造設、内シャント狭窄
- ・ 肺疾患: 原発性肺癌、転移性肺癌、良性腫瘍、肺嚢胞、気胸、肺化膿症、膿胸
- ・ 縦隔: 縦隔腫瘍、重症筋無力症
- ・ 胸壁: 中皮腫、胸壁腫瘍、漏斗胸、胸壁外傷
- ・ その他の疾患: 手掌多汗症



3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
早朝						/
午前	手術 (心臓・大血管)	手術 (呼吸器外科・血管)	手術 (心臓・大血管)	外来	外来 ・ 血管造影 ・ 血管内治療	
午後					病棟カンファレンス 症例カンファレンス	
時間外	ICU術後管理		ICU術後管理	内科合同 カンファレンス (循環器・呼吸器)		

4. 指導医・スタッフ

副院長
兼部長 那須 通寛
大学卒業年 1979年卒

博士(医学) 三重大学 1985年

専門	心臓血管外科
認定	日本胸外科学会認定医・指導医、日本外科学会専門医、三学会構成心臓血管外科認定機構心臓血管外科専門医・修練指導者、臨床研修指導医

院長補佐
兼部長 田中 仁
大学卒業年 1989年卒

博士(医学) 三重大学 1995年

専門	心臓血管外科
認定	日本胸外科学会認定医、日本外科学会認定医、三学会構成心臓血管外科認定機構心臓血管外科専門医、静脈焼灼術実施医、臨床研修指導医

部長 平野 竜史
大学卒業年 1989年卒

博士(医学) 三重大学 1996年

専門	呼吸器外科
認定	日本外科学会外科専門医

医長 井内 幹人
大学卒業年 2004年卒

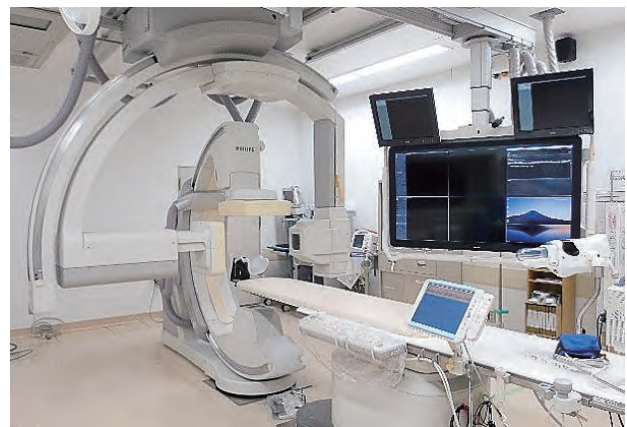
専門	心臓血管外科
認定	日本外科学会専門医、日本脈管学会専門医、腹部大動脈ステントグラフト指導医、胸部大動脈ステントグラフト指導医、三学会構成心臓血管外科認定機構心臓血管外科専門医、日本血管外科学会血管内治療医、浅大腿動脈ステントグラフト実施医、下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医、臨床研修指導医

医長 仲井 健朗
大学卒業年 2006年卒

専門	心臓血管外科
認定	日本外科学会専門医、日本脈管学会専門医・指導医、下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医、三学会構成心臓血管外科認定機構心臓血管外科専門医、腹部ステントグラフト実施医、臨床研修指導医

医長 瀧川 友哉
大学卒業年 2014年卒

専門	心臓血管外科、産業医
認定	日本外科学会専門医、胸部ステントグラフト実施医、腹部ステントグラフト実施医・指導医、臨床研修指導医



5. 診療設備

バイプレーンアンギオ装置 フィリップス Allura Clarity FD20/15
超音波診断装置 フィリップス EPIQ7(生理検査室)
移動型汎用型X線透視装置 GE ヘルスケア OEC9900EliteMD
全身用X線 CT 診断装置 東芝メディカル Aquilion ONE

6. 診療実績

心臓・大血管症例数

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
大動脈解離	13	7	7	9	12
心筋梗塞・狭心症	15	21	9	6	9
弁膜症	15	27	11	18	13
胸部大動脈瘤	8	9	12	6	15
大動脈損傷	0	0	0	0	0
その他	0	0	2	1	1
合計	51	64	41	40	50

心・大血管手術手技数

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
冠動脈バイパス	18	25	12	10	12
弓部置換	7	2	3	2	7
基部置換	0	2	0	1	0
上行置換	11	5	2	5	6
大動脈弁置換	9	18	9	14	9
僧帽弁置換	4	5	3	1	0
三尖弁形成	3	10	5	3	2
僧帽弁形成	2	9	4	6	8
メイズ手術	1	2	1	1	1
胸部ステントグラフト内挿術	7	8	11	6	13
その他	2	1	7	4	2
合計	64	87	57	53	60

末梢血管手術数

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
下肢血行再建バイパス術	7	4	9	7	5
下肢血行再建血管内治療	14	16	24	21	19
腹部大動脈ステントグラフト内挿術	7	6	12	18	28
腹部大動脈人工血管置換	7	5	3	3	1
血栓摘除術	9	12	15	6	5
内シャント血管内治療	36	29	20	33	73
内シャント作成術	32	44	42	55	32
下肢静脈ストリッピング・電気焼灼	45	40	16	15	15
その他	0	0	0	0	6
合計	157	156	141	158	184

呼吸器外科手術数

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
原発性肺がん	48	42	44	43	44
転移性肺腫瘍	1	2	3	2	1
縦隔腫瘍	4	3	6	3	5
気胸	6	9	13	4	2
膿胸	1	1	6	0	0
生検・その他	8	4	5	2	5
合計	68	61	77	54	57

7. 学会認定施設

- ・ 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連施設
- ・ 呼吸器外科専門医合同委員会認定関連施設
- ・ 関連 10 学会構成胸部ステントグラフト実施施設
- ・ 関連 10 学会構成腹部ステントグラフト実施施設
- ・ 下肢静脈瘤焼灼術実施施設